

看護学科紹介

約1400人が卒業しました。

令和7年度は、4学年合わせて学生227名が在籍し、日々学修に励んでいます。そして日々の講義・演習・実習以外に教員と学生が地域の方々と交流しています。

①看護の日

5月の看護週間に学生が実行委員長となり、看護への道を目指す中学生・高校生を対象とした行事

い、看護職を目指すきっかけや学修の一部を紹介しています。

②フレイル予防教室

年間を通じて主に高齢者を対象として皆で軽運動を行い、体力維持を目指す教室を開催しています。うち10数回は連携教育を学ぶ学生も参加し、若者と高齢者が交流する場にもなっています。

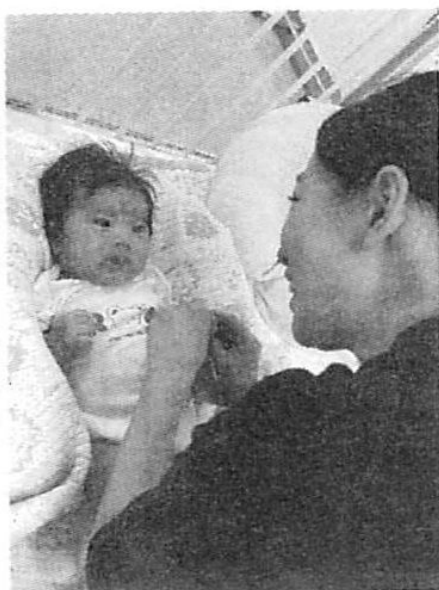
③タッチケア教室

月2回、赤ちゃんとお保護者を対象にタッチケア教室を開催しています。予約制で1回に2〜5組くらいの参加があります。日本タッチケア協会の指導者認定講習を修了した助産師教員が講師となります。タッチケアは赤ちゃんとおの心と身体のおふれあいにより、赤ちゃんにも親にも良い効果があります。

④看護セミナー

年1回、看護学科と北海道看護協会上川北支部との共催により、看護に関するセミナーを開催しています。昨年度は「災害時における医療的ケア児への対応」をテーマに学びました。医療的ケア児は日常生活に医療機器を用いていることから停電時や断水時の備えが必要です。停電時にはEV車から電力が供給できることがわかりました。

⑤高校生への模擬授業・進学相談会
高等学校からの要請により、看護学に関する模擬授業を行っています。管内の高等学校にも毎年伺っています。各高校や合同進学相談会では進路相談に応じています。本学への進学だけでなく、看護の道を考える生徒の皆様に見学という行事や進路についてのアドバイスを行っています。



います。

これ以外にも看護学科の教員と学生は、地域の方々と交流する場を多く持っています。何かの機会にお会いした際はぜひお声かけ下さいますようお願いいたします。

看護学科長

播本雅津子

名寄市立大学の看護教育は平成6年に始まり、これまでに